

【卒業時の学習到達目標】

英語を用いて意思疎通を行う機会に遭遇した際に、相手の伝えたい内容が簡単なものであれば、既習した表現や単語の知識を使って概ね要点を理解するとともに、臆することなく自分の伝えたいことを単語2～4語程度で表現することができる。

【第1学年及び第2学年】

履修科目：「英語コミュニケーションⅠ」(2単位) 使用教科書：All Aboard! English CommunicationⅠ(東京書籍)CⅠ701

主たる教材：教科書、教科書の内容に関連した自作プリント、教科書の文法事項に関連した視聴覚教材

学 年	理 解				表 現					
	聞くこと		読むこと		話すこと(やり取り)		話すこと(発表)		書くこと	
	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
2学年 後半	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等で扱われている50語程度の英文について、ゆっくりまたは繰り返して話されれば、日時、場所、人、数などの主要な情報を概ね理解することができる。 簡単な日常会話の場面において、教師が短い既習の表現でゆっくりまたは繰り返し話すならば、その内容の要点を理解することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> リスニングテスト [L9, L10] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等で扱われている80～100語程度の会話文や説明文について、新出語句の意味が分かれば、1段落ごとに内容の要点を理解することができる。 教科書等で扱われている英文をゆっくりではあるが、内容に合わせた調子で、抑揚をつけて音読することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> 音読発表 [L9, L10] クイズ [L9, L10] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等で扱われている50語程度の英文の内容について、When, Where, Who, How much, How many, What, Which, などで始まる質問に対しては1～4語程度で短く答えることができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> 授業内Q&A [L9, L10] インタビューテスト [L9, L10] 	<ul style="list-style-type: none"> 日常会話で頻繁に用いられる3～7語程度の表現や決まり文句を暗唱して、会話の中で適切に用いることができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> ショートスピーチとQ&A [L9] 	<ul style="list-style-type: none"> 教師があらかじめ提示する表現パターンや語句を用いれば、自分の考えや感情について2～4語の英文を3文程度書いて表現することができる。 簡単な日常会話の場面において、教師が短い既習の表現でゆっくりまたは繰り返し話すならば、その内容の要点を1～4語程度でメモすることができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> ショートエッセイライティング [L9] 定期考査
2学年 前半	<ul style="list-style-type: none"> すでに知っている物事や話題について、既習の単語や表現を用いた短い英文でゆっくり、または繰り返して話されれば、誰(何)が、何を(ど)のような状況かといった大まかな内容を理解することができる。 簡単な指示文を聞いて、その意味を理解して行動することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> リスニングテスト [L6～L8] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等で扱われている80語程度の英文について、新出語句の意味が分かれば、誰(何)が、何を(ど)のような状況かといった大まかな内容を理解することができる。 教科書等の英文をカンマやピリオドで少し間を置いたりしながら、ゆっくりではあるが、概ね正確に発音し、自分一人で音読することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> 音読発表 [L6～L8] クイズ [L6～L8] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> すでに知っている物事や話題について、既習の単語や表現を用いた短い英文で表現されれば、その内容に関連した問いに、Yes / Noの表現を用いて答えることができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> 授業内Q&A [L6～L8] インタビューテスト [L7, L8] 	<ul style="list-style-type: none"> 天候や、単純な気分、気持ちなどを1～3語程度で表現することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> ショートスピーチとQ&A [L6] 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な内容の日本語を英文に直す場合、用いる単語が提示されていれば、ヒントがなくても正しく単語を並べて正確な英文を書くことができる。 既習した英単語や、日常生活でよく用いられる英単語を、イラストや日本語をヒントに正確に書くことができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> ショートセンテンスライティング [L7] 定期考査
1学年 後半	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で用いる数字表現を正確に聞き取ることができる。(時刻、年、日付、電話番号など) 絵や写真などのヒントがあれば、物事について述べられた簡単に短い英文を聞いて、その内容の正否を○×で答えることができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> リスニングテスト [L2～L5] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 教師のヒントがあれば、教科書の本文について書かれた英文を読んで、その内容の正否を○×で答えることができる。 教師の手助けがあれば、教科書の各レッスンの本文をゆっくりと、通して音読することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> 音読発表 [L2～L5] クイズ [L2～L5] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話していることが理解できないときに、あらかじめ教師から提示されている表現を用いて聞き返すことができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> 授業内Q&A [L2～L5] インタビューテスト [L3, L5] 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で用いる数字表現を正しく言うことができる。(時刻、年、日付、電話番号など) 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> ショートプレゼンテーション [L3] 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な内容の日本語を英文に直す場合、用いる単語が提示され、教師のヒントがあれば、正しく単語を並べて正確な英文を書くことができる。 日常で頻出する一般動詞について、既習したものであれば過去形、過去分詞を正確に書くことができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> ショートセンテンスライティング [L3, L4] 定期考査
1学年 前半	<ul style="list-style-type: none"> 簡単に短い自己紹介を聞いて、その内容の要点を理解することができる。 アルファベットを聞いて、正確に聞き分けることができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> リスニングテスト [Pre1, Pre2] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の各レッスンの本文を教師等のモデルリーディングに続けば、1文ずつ真似て音読することができる。 新出語句を教師等のモデルリーディングに続いて、概ね正確に発音することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> 音読発表 [L1] 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の平易で単純な質問に、YesやNoで答えることができる。 人称代名詞を表現に合わせて適切に用いることができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> インタビューテスト [Pre2, L1] 	<ul style="list-style-type: none"> 教師があらかじめ提示する自己紹介の表現パターンにあてはめれば、自分の名前、出身地、趣味などを、各々1～4語程度で話すことができる。 アルファベットを自分一人で正確に発音することができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> ショートプレゼンテーション [Pre1] 	<ul style="list-style-type: none"> be動詞を、主語と時制に合わせて正しく書くことができる。 アルファベットを正確に書くことができ、英文の先頭を大文字で書くことや、文末にピリオド、クエスチョンマークを適切に使うことができる。 	英語コミュニケーションⅠ <ul style="list-style-type: none"> アルファベットライティング [Warm-Up1] 定期考査